

Open Source Conference 2024 Kyoto

サステナブルなコミュニティ実現に向けた 私たちのオープンソース推進

2024年7月27日

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
デジタル基盤センター デジタルエンジニアリング部
ソフトウェアエンジニアリンググループ

今村 かずき



ライセンス表示 License



この資料は 独立行政法人情報処理推進機構 により作成され、2025年に公開されました。
本資料は [Creative Commons 表示 4.0 国際ライセンス](#) の下で提供されています。

This work was created by Information-Technology Promotion Agency, Japan
and published in 2025.

It is licensed under the [Creative Commons Attribution 4.0 International License](#).

今村 かずき

IPA デジタル基盤センター デジタルエンジニアリング部
ソフトウェアエンジニアリンググループ（オープンソース推進担当）

- ◆ 今年3月にIPAに入構
- ◆ それ以前はWebエンジニア（2010年～）
- ◆ 主なオープンソース貢献活動
 - Django Girls Tutorialの日本語翻訳・原文改善提案
 - 「東京都 新型コロナウイルス感染症対策サイト」
covid19リポジトリのメンテナー



会場 みなさんに質問：OSC参加、何回目？

1. オンライン・オフラインともにまったく初めて参加した
2. オンラインのみ参加したことがある
3. オフライン参加は初めて
4. オフライン参加は2～5回参加したことがある
5. オフライン参加は5回以上参加している

- ◆ IPA デジタル基盤センターの取り組み
- ◆ サステナブルなオープンソースコミュニティとは

本日お伝えしたいこと

⇒ **コミュニティをサステナブルにしないとOSSは成り立たない**

IPA デジタル基盤センターの取り組み

日本の既存産業の構造問題

- ◆ **2025年の崖**（2018年～経済産業省『DXレポート』）
 - 技術面の老朽化、システムの肥大化・複雑化、ブラックボックス化などの問題を抱えた「レガシーシステム」がDXの足かせになっている
 - 「レガシーシステム」の課題を克服できない場合、2025年以降、最大12兆円／年の経済損失が生じる可能性

「崖」とは単なる未来予測。

逆に言うと「みんなで変われる」チャンスです！



IPAも変わろうとしています！

- ◆ 2023年7月にデジタル基盤センターを設立
 - 基礎をしっかり作った上にサービスを構築し、持続・展開させることを目指す。

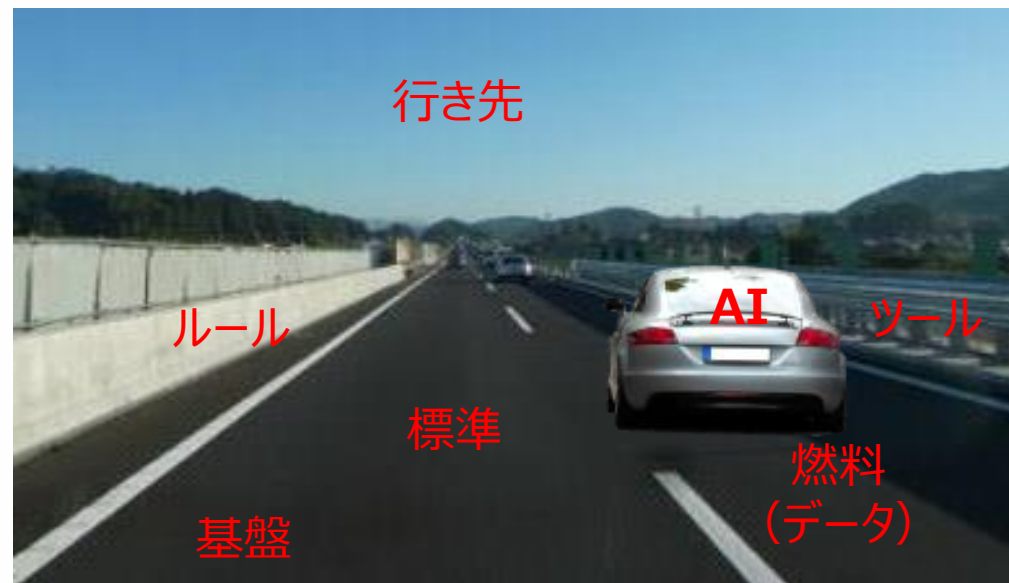
日本の従来の失敗（実証実験等）

- 基礎ができていないのにアプリ開発をするから、継続できない
- 独自手法なので展開できない



欧米の目指す世界

- 最初に基礎を固めることで、サービス開発などが行いやすく、継続しやすくする
- 基礎に参照モデルを使うので展開しやすい



デジタル基盤センターの取り組み（2023年7月設立）



誰でも簡単にビジネスを開始
デジタル空間の設計、データ供給・蓄積

最先端のビジネスに変革
組織や社会のデジタル改革の実現

誰でもアイデアを実現
革新的技術や人材の創出

データスペース
(データ活用)

デジタル
トランスフォーメーション
(企業や組織のデジタル化)

イノベーション



デジタル基盤

(データ供給、使える仕組み、標準化)

データ

ルール (制度)

ツール (AI含む)

方法論

事例

教材

ソフトウェアエンジニアリング

(高速化する社会変革に必要なサービス実現方法)

セキュリティ

※セキュリティセンター

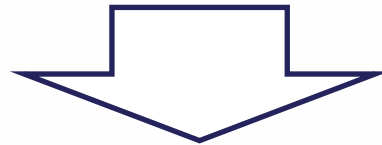
人材

※デジタル人材センター

ソフトウェアをビジネスの武器に！

- ◆ ビジネスや日常生活のあらゆる場面においてソフトウェアが活用されている
- ◆ **ソフトウェアが価値を産み出し、競争力の源泉**となっている
 - GAFAMに代表されるIT関連企業が世界のビジネスを牽引しているのが現状
- ◆ 変化の激しいこの時代においては、とくに「**即応性（アジリティ）**」と「**適応性（アダプタビリティ）**」を兼ね備えたソフトウェア開発が重要
 - アジャイル
 - DevOps（DevSecOps）
 - ローコード／ノーコード
 - ビルディング・ブロック（**OSS**やSaaS等の部品を組み合わせた開発）

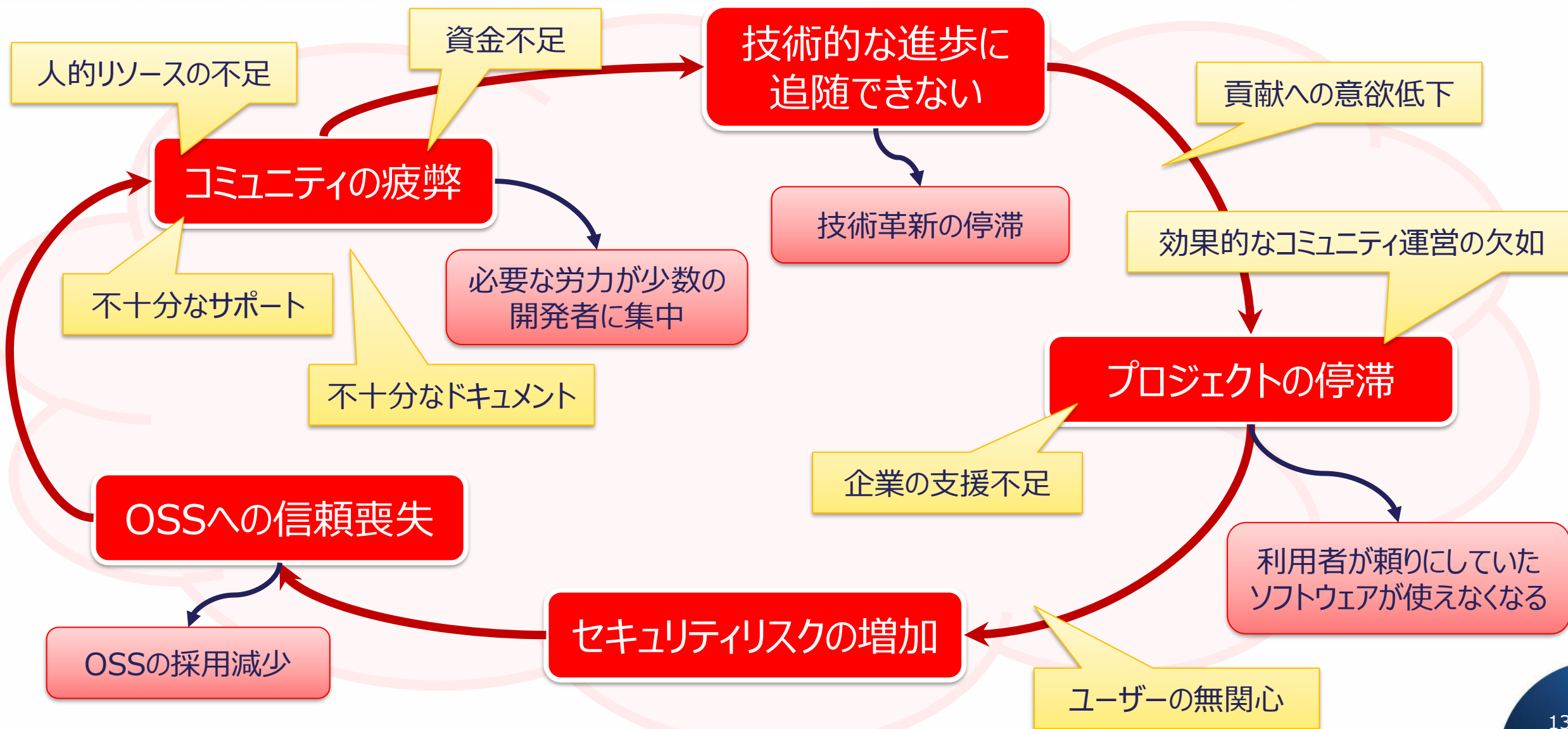
- ◆ オープンソース等の部品活用により協調領域をカバーし、競争領域にリソースを集中することにより、必要または先進的なサービスを世界に先駆けて利用し遅れを取り戻す環境を実現
- ◆ 国内のこれまでのオープンソースへの認識を世界基準にアップデートし、オープンソースの利用者、開発者が活動しやすい環境を構築



- ◆ まずはオープンソース情報のハブを設置（スタートポイント）
- ◆ これからもオープンソースを「自分ごと」として、みなさんの変革を支援できるよう、新しい施策を検討していきます！

サステナブルなオープンソースコミュニティとは

オープンソースコミュニティで起こり得る悲劇



オープンソースコミュニティをサステナブルにするためには

オープンであることを あたりまえにやる

- ・ オープンでやる
- ・ グローバルコミュニティの一員であることを意識する

多様性・包摂性・公平性
を尊重する

ルールの制定・実施・改善に
よってガバナンスを強化する

行動規範

ガイドライン、行動規範、ポリシー

心理的安全性が高まる

- ・ 「このコミュニティにいてもいい」という安心感が得られる
- ・ 「ここなら安心して発言・行動できる」と思える
- ・ 「コミュニティにギブバック、貢献したい」という気持ちが生まれる

オープンソースプロジェクトを“普通に”やる

オープンソースプロジェクトを立ち上げる際に含めるべきドキュメント

- ◆ **オープンソースライセンス**：MITライセンス、Apache 2.0、GPLv3など、国際的に認知されているライセンス
- ◆ **READMEファイル**：プロジェクトの概要、使い方、貢献方法を説明するドキュメント
- ◆ **コントリビュートガイドライン**：バグ報告、新機能提案、環境設定などの手順を示すガイド
- ◆ **行動規範**：プロジェクトの参加者が従うべき行動基準

広く使われているものを再利用しよう

だいたいクリエイティブ・コモンズ（ほとんどがCC BY 4.0）で公開されている。
（適切なクレジットを表示方法に沿っていれば、複製・改変・再配布自由）



The screenshot shows the Contributor Covenant website. The header is purple with the text 'Contributor Covenant' and a logo. Below the header is a navigation bar with links: Home, Adopters, Latest Version, Translations, FAQ. The main content area is white and features the title 'コントリビューター行動規範' (Contributor Covenant). Below the title is the section '私たちの約束' (Our Pledge), which states that the project is open to all and that the community should be welcoming and respectful. It also mentions that the project is open to all and that the community should be welcoming and respectful. Below this is the section '私たちの標準' (Our Standards), which lists several guidelines for contributors, including being respectful, being open to feedback, and being open to criticism.

Contributor Covenant

Home Adopters Latest Version Translations FAQ

コントリビューター行動規範

私たちの約束

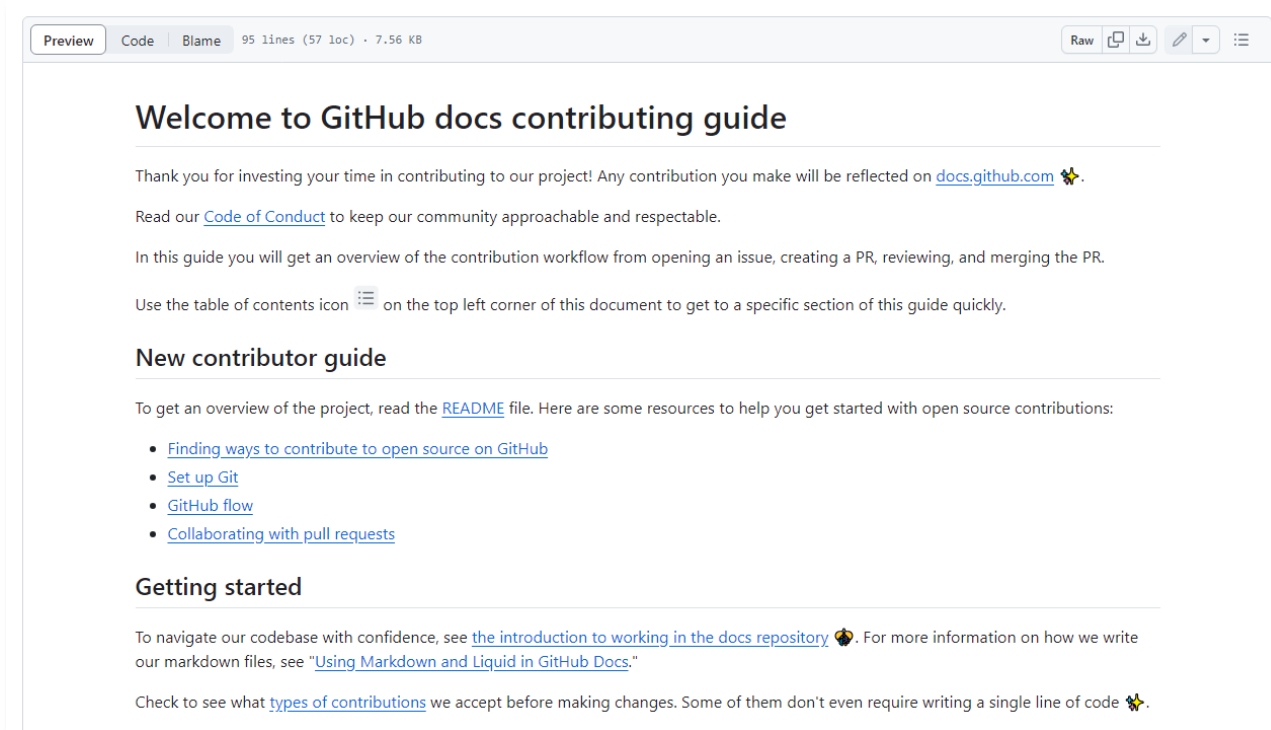
メンバー、コントリビューター、およびリーダーとして、年齢、体の大きさ、目に見えるまたは目に見えない障害、民族性、性的特徴、性同一性とジェンダー表現、経験のレベル、教育、社会経済的地位、国籍、人格、人種、カースト、肌の色、宗教、または性的同一性と性的指向に関係なく、コミュニティへの参加をハラスメントのない体験にすることを誓います。

私たちは、オープンで親しみやすく、多様で包括的で健全なコミュニティに貢献する方法で行動し、交流することを誓います。

私たちの標準

前向きな環境を作り上げることに貢献する行動の例:

- 他人への共感と優しさを示す
- 異なる意見、視点、経験を尊重する
- 建設的なフィードバックを与え、礼儀正しく受け入れる
- 私たちの過ちの影響を受けた人々に責任を受け入れ、謝罪し、そしてその経験から学ぶ
- 個人としてだけでなく、コミュニティ全体にとっても最善であることに焦点を当てる



The screenshot shows the GitHub Docs website. The header is light gray with the text 'Welcome to GitHub docs contributing guide'. Below the header is a navigation bar with links: Preview, Code, Blame, 95 lines (57 loc) · 7.56 KB. The main content area is white and features the title 'Welcome to GitHub docs contributing guide'. Below the title is the section 'New contributor guide', which provides an overview of the contribution workflow and lists several resources for getting started. Below this is the section 'Getting started', which provides more information on how to write markdown files and how to make changes to the repository.

Preview Code Blame 95 lines (57 loc) · 7.56 KB

Welcome to GitHub docs contributing guide

Thank you for investing your time in contributing to our project! Any contribution you make will be reflected on docs.github.com 🌟

Read our [Code of Conduct](#) to keep our community approachable and respectable.

In this guide you will get an overview of the contribution workflow from opening an issue, creating a PR, reviewing, and merging the PR.

Use the table of contents icon ☰ on the top left corner of this document to get to a specific section of this guide quickly.

New contributor guide

To get an overview of the project, read the [README](#) file. Here are some resources to help you get started with open source contributions:

- [Finding ways to contribute to open source on GitHub](#)
- [Set up Git](#)
- [GitHub flow](#)
- [Collaborating with pull requests](#)

Getting started

To navigate our codebase with confidence, see [the introduction to working in the docs repository](#) 🌟. For more information on how we write our markdown files, see ["Using Markdown and Liquid in GitHub Docs."](#)

Check to see what [types of contributions](#) we accept before making changes. Some of them don't even require writing a single line of code 🌟

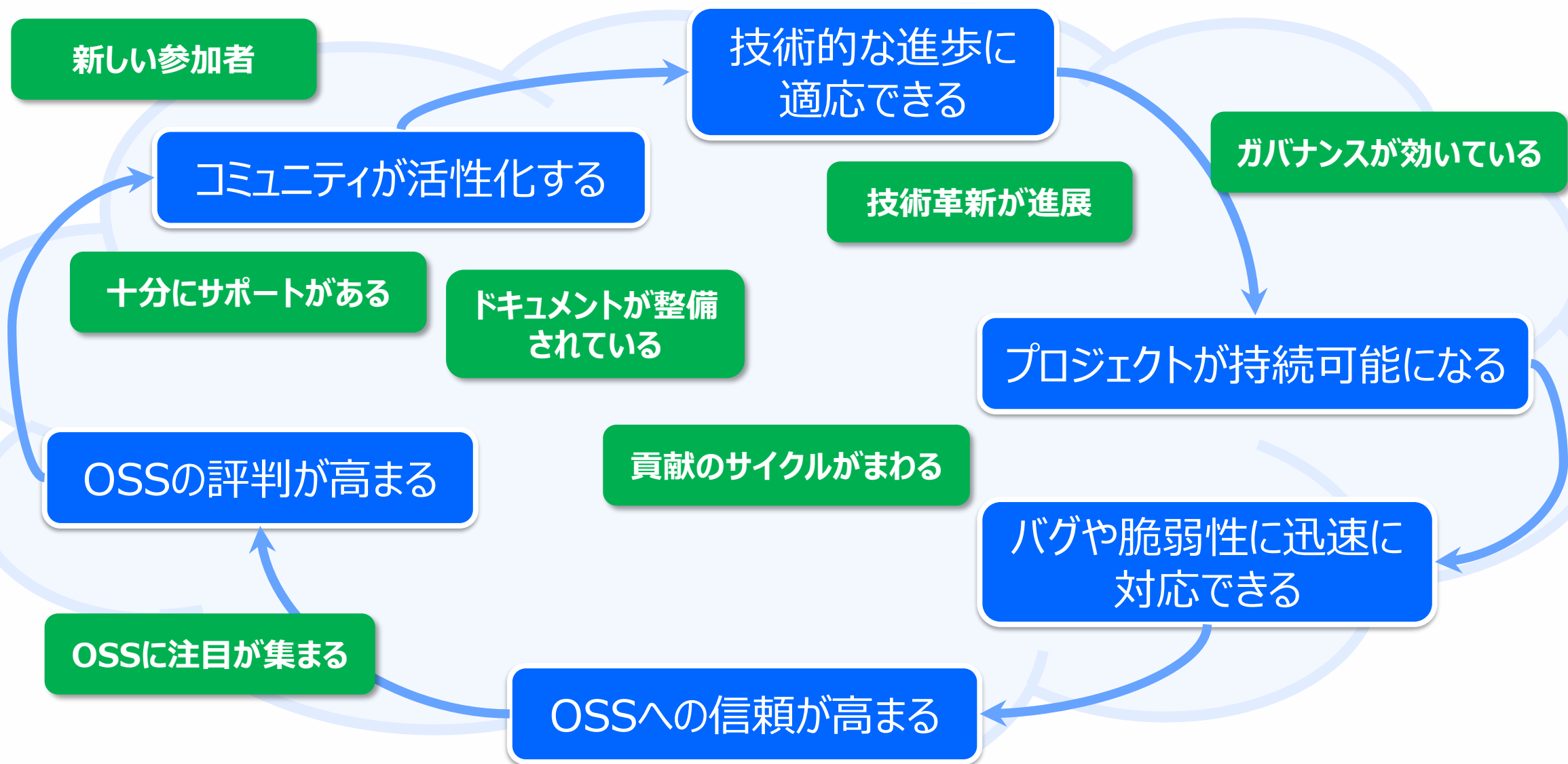
引用（左）：Contributor Covenant.「コントリビューター行動規範」

https://www.contributor-covenant.org/ja/version/2/1/code_of_conduct/

引用（右）：GitHub Docs.「CONTRIBUTING.md」

<https://github.com/github/docs/blob/b6ac8734d8b9c714efc57b749a804519f4a183a3/.github/CONTRIBUTING.md>

コミュニティがサステナブルになることで生まれる好循環



コミュニティがサステナブルであることの基礎を築こう

- ◆ 行動規範を定めて、多様な人々にとって心地よい場を作る
- ◆ コントリビュートガイドラインを示して、貢献しやすくする



まずはここから始めてみましょう

あまりその存在に気づいてもらえないかもしれないが、サステナブルであるためには必要不可欠なこと

オープンソースコミュニティがサステナブルであるために大事にしたいこと

- ◆ オープンにやる
- ◆ グローバルコミュニティの一員であることを意識する
- ◆ ルールの制定・実施・改善によってガバナンスを強化する
- ◆ 多様性・包摂性・公平性を尊重する

(グローバルなオープンソースプロジェクトが参考になる)

サステナブルなコミュニティをみんなで作っていきましょう

IPA